

就労支援センターくまもと

22号

発行：特定非営利活動法人 自立応援団

〒861-5535 熊本市貢町780-8 電話 096-288-1752 / F A X 096-288-1753

元気いっぱいの鹿児島県の仲間みなさんによるオープニングセレモニーで迎えられた私は、それからの二日間の学習交流会への期待が大きく膨らみました。

『めざせ！インクルーシブな社会！！』

小野理事の基調講演では、改めて障害者自立支援法の課題点と、支援法による苦しい現状を認識し、「なぜ、廃止させなければならないのか？」考える事が出来ました。

日常的に“運動が必要だ”と言いながら署名活動や物販を活用しての周知活動を行っていますが、自分の中にただ、当たり前前に活動を行っている面もあったように思います。

もっと当事者の身になって法をつくる事は出来る！不可能な事はない。

NZのニーズ評価と日本の障害程度区分を見比べて、自分たちの国が社会的に立場を“弱くさせられてしま



っている”障がいのある人たちをこんな項目で判断し、支援内容を一方的に決めているという事は怒りを通り越して、悲しいと思いました。理解のないという事がどんなに差別につながっているのだろう？NZではこんなに当事者の事を考える事ができている、日本だってできない事はないはずだと思いました。それには、当事者・家族・支援者の思いをもっと大きく広げ、大きな声で訴えていかなければならないと思い、今の大切な時、現場でひとつひとつの仕事の中でももっと『仲間の声』に耳を傾けていこうと思いました。

分科会は『なかまの労働への援助・実践』に参加し、なかまの労働の意味・役割について学んできました。レポーターの方が発表された事例と実践を聞き、正直、羨ましいと感じました。私には、まだまだ大きな成功事例の経験がありません。人前にも立てなかった方が7年もの時間をかけて作業チームのリーダー的存在になり、チームの代表として人前で挨拶ができるようになったという話、全盲のなかまに様々な実践で向き合い、強い信頼関係が築きあげられた話、どれも私には夢いっぱいのお話でした。

私の仕事は仲間の可能性を最大限引き出す事ができる仕事、でも反面、可能性を潰してしまう事だってあるけど本人の自己実現に向かって歩いていく事ができれば、それは“その人らしく生きていく”という事なのではないかと思えます。そこに携わる事ができるなら、私は精一杯見守り、一緒に前に向かっていける人間になりたいと思えました。日常の中で「忙しいから」と自分に言い訳をしてしまい、メンバーさんに対して出来るはずなのに出来ていない事や、見落としていた事の多さに気づく事が出来ました。学習交流会で学び、刺激を受けた事をこれからの現場支援で活用できるよう、初心に返りながら全うしようと思えます。

ともに生き、ともに働き、同じ権利を持つ仲間たちと、将来お金持ちになりたいです！！

九州ブロック学習交流会に参加させていただき、ありがとうございました。

(レポート 原田)

銀メダルおめでとう！

2月10日～12日に福島県で開催された2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームに出場された工藤利博さんのメダルが届きました！



フロアホッケー練習から、頑張っていただけあって、メダルが届いて嬉しそう(*´▽`*)
お約束の..メダル、噛んでました(*^^*)
おめでとう！

理事長より

工藤さんおめでとうございます。西里駅からいつも走って通勤し、常に体を鍛えられています。日頃の訓練の成果ですね。
いま、リサイクル班の中で積極的に地域の企業様や個人宅を回りながらの回収作業や分別作業に取り組んでいます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



農芸班より

桜の咲く季節となりました皆様いかがお過ごしでしょうか。苗床の野菜も芽吹きはじめました。今年は湯たんぽまで使って苗を作っています。なんだか生まれたての赤ちゃんの面倒をみているみたいです。



農芸班のメンバーも少しずつですが成長してきているみたいです。今ではある程度指示さえ出しておけば勝手にやってくれます。おかげでだいぶ楽になりました。頼もしいです。
歳のせいかわ若者が成長していくのを見るのはなんとも嬉しい事です。

畑の方はといいますと、だいぶ最初と変化しています。方向性が固まってきたといいますか、最初の頃は動物性の肥料を使いたくはないけど周りに応じる為仕方なく使っていました。

それを全く使わなくしていたのですが、今では畑を半分に分けて使う所と使わない所とはっきり分けました。これには理由があります。

近代農法と自然農法のバランスをとりたいと思っていたんですが、自分なりに考えた結果、現時点では肥料が多い所と少ない所と分けるという答えになっています。

畑の敷地内で肥料過多になれば虫や病気が増えるのでその増えた分を肥料の少ない方に与えるという事になっています。

肥料過多の方の草などを少ない方に回していくという事です。ちょうど母親が子に乳を与えるような感じでしょうか。

あれが一番バランスがとれるなと思ったしだいです。自分では凄い発想だなと思ってるんですが、これからこの方向性でどんな展開で活動していくか楽しみです。



3月1日日記

今日はオリーブの苗木を植えました。その名の通り平和をもたらしてくれると思います。

3年後は実をならせてくれることでしょうか！3年後がとても楽しみです👩👧👦

3月13日日記

写真の中央は、今週から新しく農芸班に入られた方です。

この日は、みんなと山に竹切りに行きました。

慣れない事が多いでしょうが、頑張っしてほしいです。

竹は野菜の支柱にします。

竹の子が出来たら販売しようと思います。



熊本養護学校高等部施設見学

熊本養護学校から32名見学に来ていただきました。後輩が来て皆さんいつもより、てきぱきとした仕事をされていたようですね！

グループホーム親和荘と就労支援センターくまもとと2つの班に分かれてご見学頂きました。

就労支援センターくまもとで行っている箱折やシール貼り作業、外の活動のリサイクル活動や農芸班の活動を真剣に見学されました。

ありがとうございました！



農芸班の新しい仕事…

地域の企業の田上樹楽園様より、農芸班に新しいお仕事を頂けるお話をさせて頂きました。公園に植え

る花の管理業務です。現在の畑の前のスペースに花を置いて、水やり作業や草取り作業です。

花を置く場所の打ち合わせなどをさせて頂きました。就労支援センターくまもとも花いっぱいになることでしょうか！とても楽しみです。

本当に地域の皆様から支えられて活動ができています。

メンバーも新しい仕事できて大喜び！

私達も一生懸命花の管理をさせて頂き、ご期待に応えられるようみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います！

ちょっとうれしいお話…

お休みという事もあり、地域の方が空き缶や段ボール等の資源ごみを持ってきて頂きました！

とてもうれしい事です！

気にかけて頂いているという想いがあります。結構、このように休みの時は地域の方が来られているのです。気づかない間に…。

本当に恐縮するばかりです。目に見えない所での地域の皆様のお力。ありがとうございます。

このようなつながりが大事なんですね。本当に感謝！感謝です。

グループホーム親和荘から！

グループホームの居住者会議で「ぼってんの湯」に行くことが決まり、26日の風呂(26)の日に出かけました。

参加者は、今回は5名が参加されました。日曜日のお昼まででしたが、ちょうど他のお客さんは少なく、ゆったりと入浴を楽しむことができました。

皆さん、気持ち良かったと爽やかな顔をして、話されていました。

帰りは、途中で買い物をして帰りました。

やっと、春の兆しを感じることができるようになりました。グループホームでは3月31日に花見を計画しています。そろそろ、外の活動も行いながら、皆さんと生活を楽しまたいと思います！

「こんなところ行きたい！」「こういうのやりたい！」

皆さんのご意見お待ちしております！

きょうされん 九州ブロック大会

きょうされん第16回九州ブロック学習交流会が、鹿児島県の錦江高原ホテルにて開催されました。原田さんから報告があがっているので、私がレポーターとして参加した分科会の報告をします。

九州ブロック大会は、今までは1人での参加でしたが、今回は職員3名、仲間4名の計7名の参加となりました。私は、前準備がありましたので、先に出発しましたが、車の中でも楽しく移動して来たようです。400名を超える参加があり、他の施設の仲間との交流を楽しむ事ができたようです。

初日の経営者部会では、障がい者施設が地域で活動する為のキーワードについて今までの実践を元にお話をする事ができましたが、経営者の共通の課題としては、「次世代にどう伝えるか？」

次の10年を視野に入れた形での運営が求められている中、いろんな議論をする事ができました。次世代育成の取り組みとして、まずは組織改革が必要だと思います。そして、団体を外からサポートする家族会との連携が求められるのではないかと思います。次年度は、組織体制をどうつくるか？というテーマを元に頑張っていきたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

さて、2日目は、事務部会で認定NPOについてのお話をさせて頂きました。昨年6月に法改正が行われ、NPOも大きく変わろうとしています。今後のNPOの運営について議論する事ができました。自立応援団も認定NPO法人に向けた活動に広げていかねばなりません。今後ともご協力をお願いします。



編集後記

きょうされん西村理事長より「3.11 あの日から1年」としてきょうされん表明を頂きました。

1万5854人の命が奪われ、なお3203人が未だに行方不明のまま

「仲間は何作業所は？」・・・3月11日に「きょうされんはひとつ」と東日本大震災災害対策本部を設置し、全国あげての体制をつくり、支援活動をされています。

今年度、就労支援センターくまもととしては、本活動に賛同し、私たちにできること...

募金活動を行い、それを寄付致しました。全国から集まった寄付は、8000万円の募金は支援活動や28カ所の事業所の改修、備品購入などに活かされています。また、延べ5000人以上の職員が全国各地から被災地支援に入ったそうです。

読ませて頂き、東日本震災の復興支援にはまだまだ、時間がかかるようです。

障害のある人の被災、避難生活の実態

原発事故の影響で利用者の給料は半額以下になり、仕事の減少

職員が確保できず利用希望に応えきれない事態などなど

引き続き支援が必要です。今後も自立応援団として、東日本震災復興支援の為の募金活動等も行います。皆様のご協力をお願いします。

(福島貴志)

(今後の予定)

3月31日 グループホームお花見会

4月3日 就労支援センターくまもと

入社式(熊本市食品交流会館)

*新入社員歓迎会を合わせたお花見も終了後行います。

5月3日 NPO法人自立応援団 総会